

# 第5分科会

## with コロナ時代の「留学」どうする？

### 分科会概要：

新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の世界的な広がりから1年半以上が経過し、ワクチン接種が進む国々では感染を予防しながら日常生活を送る「with コロナ」時代を迎えており、社会経済活動の再開や活性化が期待されている。一方、新型コロナウイルス感染症の拡大は学校や学習の場にも大きな影響を与え、様々な課題を浮き彫りにした。その一つが「留学」である。未だに各国では入国制限や入国後の行動制限措置がとられており、海外からの留学生が日本に入国できない、日本の大学生も海外への留学が決まったのに日本を出国できないなど、留学が難しい状況が続いている。最近では「リアル留学」に代わって「オンライン留学」というニューノーマルな留学プランもスタートしている。分科会では、教職員、学生とともに「with コロナ」「ニューノーマル」時代における「留学」の可能性と課題について考えてみたい。

### <プログラム>

- 09：30 趣旨説明  
佛教大学 社会福祉学部 講師 孔 栄鍾 氏
- 09：40 講演 1.「大学における留学交流の魅力」  
茨城キリスト教大学 生活科学部 助教 呉 恩恵 氏
- 10：10 講演 2.「国際交流課からみるコロナ禍の留学への影響～現状と今後の展望～」  
佛教大学 国際交流課 課長 中村 真美 氏
- 10：40 ディスカッション  
佛教大学大学院 社会学研究科 修士課程 1年 PHUNG THI DIEM KIEU 氏  
佛教大学 文学部 中国学科 3年 久保 有佳里 氏  
佛教大学 社会福祉学部 社会福祉学科 1年 権 兌研 氏
- 11：10 休憩（質問・コメントの受け入れ）
- 11：15 質疑応答